賢く 優しく 逞しく

１１月号･令和４年１１月１日発行

本校ＵＲＬ　http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/　武蔵村山市立第五中学校

歌詞に込められた思い

校　長　榎戸　千代子

１１月は旧暦では「霜月」、文字通り霜が降る月という意味の「霜降月」の略です。朝晩は寒い日も増えてきました。１１月７日（月）は、二十四節気の一つ「立冬」です。空気がぐっと冷たくなり、冬の兆しが見え始める頃です。街路樹の木々も色づいてきました。一般的には一日の最低気温が８℃を下回ると葉が色づきはじめ、それから３～４週間ほどで「紅葉」が見頃を迎えるようです。寒くなってきました。体調には十分気を付けてください。

さて、コロナ禍ではありますが、先月２６日（水）に感染症防止対策を講じて、２年ぶりに「合唱コンクール」を開催しました。今回は密を避けるため、学年ごとの入れ替え制で行いました。

合唱コンクールの中で、３年６組が自由曲で歌った「手紙」は、シンガーソングライターのアンジェラ・アキさんが作詞・作曲した「手紙～拝啓十五の君へ～」というものです。平成２０（２００８）年に、「ＮＨＫ全国学校音楽コンクール」中学校の部の課題曲用に書き下ろした曲です。その後、中学校の合唱コンクールや卒業式でも歌われ、大ヒットしました。

曲の依頼を受け、あれこれと構想を練っていたある日、自身がちょうど３０歳の誕生日を迎え、彼女のもとに母親から手紙が届けられました。その手紙は彼女が１７歳の頃悩んでいたことを未来の自分（３０歳）に相談にのってもらおうと自分宛てに書いたものでした。不思議な偶然が重なり、今の自分からあの頃の自分に返事を書くという、そんな構成の歌を思いついたようです。

拝啓　この手紙読んでいるあなたは　どこで何をしているのだろう
十五の僕には誰にも話せない　悩みの種があるのです

という歌詞で始まります。１０代の自分からの手紙を読んでみると「なんでこんなことで悩んでいるの？」と切なくなって、もし、あのときの自分に何か言えるなら、何と言ってあげるだろうと思って、ピアノに向かっているうちに生まれたのがこの「手紙」の歌詞でした。そして、大人になっても苦しいこと、悲しいこと、辛いことはなくならない。でも、痛みや苦しみを抱えているのはあなただけではないから大丈夫だよと励ましています。そして、歌詞は、

大人の僕も傷ついて眠れない夜はあるけど　苦くて甘い今を生きている
人生の全てに意味があるから　恐れずにあなたの夢を育てて　Keep on believing

と続きます。「たどりついてもその先があるし、たどりつけなくても終わりじゃない。“～ing”で“～し続ける”ことが大切」と、彼女はインタビューの中で語っています。

合唱にはそれぞれ「歌詞」に込められた「思い」があります。そして、その「思い」を歌にして届けるために、各クラスで一生懸命練習を重ねてきました。この２年間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、飛沫感染の恐れがある合唱は授業で十分できない状況でした。発声をすることに慣れていない現状がありました。それでも、子供たちは今できる精一杯の合唱をさくらホール一杯に響かせてくれました。合唱の取組により、互いを認め、尊重しようとする心や態度、クラスで協力、団結することで得られる連帯感、そしてやり遂げた達成感を味わったことと思います。３年生の皆さんにとっては、最初で最後の合唱コンクールとなりました。１，２年生の皆さんにとっては、次につながる行事となったことでしょう。来年度は、ぜひ３学年がそろった合唱コンクールを行いたいと思います。お忙しい中、多くの保護者の皆様の御来場ありがとうございました。

第五中学校体罰防止標語：　チーム五中で　心に響く　生徒指導